

神戸商工会議所 DX セミナー  
「現場訪問型 実際に見るデジタル化のリアルストーリー」  
～日能研関西の DX への取り組みと失敗事例～

神戸商工会議所は、中小企業のデジタル化・DX推進事業の一環として、DXセミナー「現場訪問型 実際に見るデジタル化のリアルストーリー」を開催する。

本セミナーでは、デジタル化を進める「株日能研関西」を実際に訪問し、同社のデジタル化・DXに関する取り組みの現場見学を行うとともに、代表者よりデジタル化を進めた経緯や成功と失敗の経験など生の声を伺う。

本会を通じて、デジタル化を進める上での具体的な事例を学び、参加企業のデジタル化・DXへの取り組みに役立てる。

現在、本セミナーへの参加者を募集している【申込〆切：7月15日】。

本セミナーの告知や当日の取材を宜しくお願いいたします。

#### ■開催概要

日時：2024年7月17日（水）13:00～15:00

会場：日能研元町校

内容：ファシリテーターとの対話形式

- ・コロナ禍において実践したデジタル化の紹介
- ・デジタル化に関する現場の声
- ・デジタル化・DXの失敗事例 等

登壇者：株式会社日能研関西 代表取締役社長 小松原 健裕 氏

ファシリテーター：ストロングポイント株式会社 コンサルティング部 部長 山田 恵嗣 氏

定員：50名

参加費：無料

申込方法：サイト記載の申込ページより申込み。

#### 【株式会社日能研関西】

設立：1977年9月

代表者：小松原 健裕 氏

従業員：約250名

本部：神戸市中央区江戸町94-2

ファーストプレイスユニオンビル6F～8F

事業：進学塾の運営、授業・学習支援 等  
（兵庫・大阪・奈良・京都・岡山・広島  
2府4県で27教室を展開）

【主催】神戸商工会議所 次世代産業委員会

【共催】神戸市、公益財団法人 新産業創造研究機構、

公益社団法人 兵庫工業会、一般社団法人 神戸市機械金属工業会、



#### ■添付資料

- ・ご案内チラシ

#### 【本件担当】

神戸商工会議所 産業部 産業振興チーム 景山・竹下

TEL：078-303-5806 FAX：078-306-2348 E-mail：n-kageyama@kobe-cci.or.jp

現場  
訪問型

# 実際に見る デジタル化の リアルストーリー

～日能研関西のDXへの取り組みと失敗事例～

多くの企業で人手不足が深刻な経営課題となる中、業務の効率化や生産性向上に繋がるデジタル化・DXの重要性は増えています。

本セミナーでは、株式会社日能研関西の現場を訪問し、小松原社長より、同社がコロナ禍で導入したデジタル化の具体的な事例や、その過程で直面した困難、成功と失敗の経験について直接お話を伺います。また、現場見学を通じて、同社の具体的な取組みに理解を深めていただけます。ぜひご参加ください。

## ファシリテーターとの対話形式で デジタル化の生の声をお届け

登壇者



株式会社日能研関西  
代表取締役社長

小松原 健裕 氏

1 コロナ禍において実践した  
デジタル化の紹介

2 デジタル化に関する現場の声

3 デジタル化・DX の失敗事例

ファシリテーター

ストロングポイント株式会社  
コンサルティング部 部長

山田 恵嗣 氏

甲陽学院高校、慶応義塾大学卒業後、IBMに入社し、主に金融機関向けシステムを担当。

日能研関西入社後は、京都エリア担当、副社長を経て、2014年から現職。

「日能研」は中学受験専門塾として日本全国に130以上の教室があるが、日能研関西は近畿・中国地方の教室を管轄。他の大手塾と協力して関西教育機構を立ち上げ、私学教育の振興活動も行う。

神戸大学卒業。船井総研、リヴァンプ、KPMG、IGPなど、コンサルタントとして10年以上活動。リヴァンプではコンサルタントとして、再生案件やシステム導入における要件定義、設計、運用案件を複数経験。KPMG、IGPではデジタルを活用したBPR、マーケティング戦略立案、効率化施策実行まで幅広くサポート。ストロングポイントでは、コンサルティング部門の部長として、BPRやDXコンサルやセミナー講師を担当。

2024

7月17日(水)  
13:00 ~ 15:00

参加費  
無料

会場 日能研元町校



〒650-0012  
兵庫県神戸市  
中央区北長狭通  
4丁目4-18  
富士信ビル 6F

定員 50名 申込締切 2024年7月15日(月)

申込方法 右記QRコードよりお申し込みください

対象 神戸市を中心とした中小企業の担当者、デジタル推進担当者等

※(株)日能研関西様の同業他社さまにはご参加をご遠慮頂いております。ご理解のほど宜しくお願い致します。

※定員に達した場合、主催・共催機関会員優先

